

いわて森林再生77

2013年10月号

NPO法人いわて森林再生研究会
盛岡市上田堤1-13-7
TEL・FAX 019-663-0547

われらは森林の環境と、その恵みを守り育てます



さあ～やるぞ！先ず、簡単な林分調査で間伐率を・・・里山整備企画（林野庁助成）事業スタート（9/9 三助山）

不気味な異変つづき

～地球温暖化の影響？～

この夏、日本列島を襲った記録的な降雨量の集中豪雨、頻繁に起きた竜巻など、これまでにない気象現象が続きました。岩手県も7月、8月、そして9月と大雨に見舞われました。特に奥羽山系の山沿いはひどく、至ところの沢は削られ、林道も寸断されました。私も盛岡の箱ヶ森山の沢筋を見ましたが大量に押し出された岩石や立木が田畑や人家まで埋める有様でした。この惨禍をもたらした雨は、昨年までの降り方とは全く異なるもので、これからこんな降り方になるのかと心配です。

つい最近、国連の気象変動に関する政府間パネル(IPPC)が報告書を出し「異常気象や地球上の様々な変化は、やはり地球温暖化がもたらしている」と指摘しています。やっばりと云う感じです。

ところで、虫や鳥にも異常が起きているような気がしてなりません。昨年まで悩ませていた昆虫のカメムシが一向に見当たりません。丁度いまの季節には目を覆いたくなるほど多くいましたがどうしたことでしょうか。また、いつもの夏ならば、サイカチの木に集まってくるカブトムシも殆ど見えませんでした。これが云われているように強い農薬のせいだとしたらゾッとします。ついに、日本も「沈黙の春(アメリカ女性が書いた農薬汚染の本)」ようになるのではと心配です。

地球温暖化にしろ、農薬汚染にしろ、原因は人間が為したものです。物質生産のために化石燃料を際限なく使い、食糧確保のためと称して大量の農薬をばらまいているのがヒトという生物です。

どうせ、生物の^{ことわり}理としてヒトは、いつかは滅亡するにしても、急ぐことはないじゃありませんか。

.....

活動カレンダー 10/5～11/4

月日	内 容	担 当
10/5(土)	「ビオトープづくり」・・・北上市村崎野	北上
〃	「間伐」・・・岩手町土川(送仙山) 現地集合 ※10p参照	北
6(日)	「薪・製材」・・・間伐材の日 集合・・・ギダジ研修場	研
9(水) ～10(木)	「マツクイ企画」・・・マツ林の間伐 集合・・・ギダジ研修場	研
12(土)	「講座」・・・現場研修 集合・・・ギダジ研修場	〃
13(日)	「木工教室」・・・間伐材の日 集合・・・ギダジ研修場	〃
〃	「講師派遣」・・・遠野エコネット 入門講座へスタッフ3人	研
14(月)	「マツクイ企画」・・・巣箱取り付け 集合・・・ギダジ研修場	研
19(土)	「薪・製材」・・・間伐材の日 集合・・・ギダジ研修場	研
20(日)	「間伐」・・・北上市・上鬼柳 集合・・・現地	北上
〃	「間伐」・・・岩手町土川(送仙山) 現地集合 ※10p参照	北
26(土)	「間伐」・・・手代森・田中林 集合・・・手代森小学校	南
27(日)	「講座」・・・現場研修 集合・・・ギダジ研修場	研
11/2(土)	「ビオトープづくり」・・・北上市村崎野	北上
3(日) ～4(月)	「製材・炭材」・・・間伐材の日 集合・・・ギダジ研修場	研

「間伐材の資源化プロジェクト」・「セブン-イレブン記念財団」助成事業

<10月のスケジュール>

この活動には誰でも参加できます。講座のメンバー歓迎

■ 製材・薪・「間伐材の日」

と き 10月6日(日)、19日(土)
9:00~15:00

集 合 ギダジ研修場

☞ 製材

木工が本格化するにつれ、板材などが要ります。それを簡易製材機でつくります。木取りなどある程度の技術が必要です。

■ 木工教室……「間伐材の資源化」

と き 10月13日(日)
9:00~15:00

集 合 ギダジ研修場

内 容 「トレー」、「木組み細工」
の製作、部材づくり

☞ 「木工教室」

また、新しく工具が導入されました。工具は当会の財産です。長く使用するために大事に使いましょう。

9月の活動から

□ 9/7 間伐材の日……薪づくり 時折、雨が降る中での作業 参加 10人



長雨で遅れた薪づくり、敢えて小雨の中で作業

徐々に積み上がる薪

□ 9/23 木工教室……9/23

椅子の製作、部材が揃い組立仕上げの作業

参加 21人



組立て

まさしく「椅子」！ 間伐材で製作した「椅子」！

「森林ボランティア講座」……三井物産環境基金 助成事業

震災復興支援活動……3年間で「森林作業の人材200人を養成」

< 10月のスケジュール >

■ 「森林ボランティア講座」

と き 10月12日(土), 27日(日)
9:00~15:00

ところ 研修林

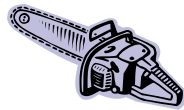
集 合 ギダジ研修場

内 容 ・林分調査(間伐率の算出など)
・伐木・掛り木処理、集材

🔍 今月の研修ポイント

◇ 林分調査 ……簡単な「間伐率」の計算

間伐と云っても無闇に立木を伐り倒すことは出来ません。森林には、その林に見合った本数があります。それさえ知っていれば「間伐率」の計算は簡単です。チョッと科学的な作業ですよ。



9月の活動から

□ 9/ 14, 22 「森林ボランティア講座」 参加 27人(9/14), 28人(9/22)

9月は 助力なしで自力で伐木、造材、掛り木の処理などにチャレンジ



きょうの研修内容を伝える



スタッフの打ち合わせ



手を出さないで見守るスタッフ



掛り木を回すテクニック



大事な伐り株の検証



まずまず…伐木の姿勢・構え



背骨は真っ直ぐにして



丸太をテコにして掛り木を回す



方向は正確ですか?

マツクイムシ被害防止プロジェクト」……:県民参加の森林づくり 助成事業

< 10月のスケジュール >

■ 「マツ林の間伐」

と き 10月9日(水)~10(木)

9:00~15:00

ところ ギダジ研修地内

炭焼き小屋の上方のマツ林

集 合 ギダジ研修場

内 容 マツノマダラカミキリを寄せ
付けないための間伐 約1ha
※ 「刈払い」も有り?

■ 「アカゲラ巣箱の取り付け」

と き 10月14日(月)

9:00~15:00

ところ 「つどいの森」その他

集 合 ギダジ研修場



☞ 巣箱を取り付ける林

下記の3ヶ所のマツ林です。

- A 「つどいの森」赤林山山麓
- B 「新庄墓地」盛岡の公共墓地
- C 「盛岡市動物公園」

☞ マツ林の間伐

樹勢が衰えた樹木は樹脂なども少なくなり、虫や菌などに侵されやすくなります。

そこで、樹勢を良くするため間伐します。

ただし、マツを伐る時期は、盛岡地区の場合、既にマツノマダラカミキリが侵入しているため、10、11月に限られています。それに合わせての活動になります。

なお、伐りだした間伐材は炭焼きの炭材になります。

さあ～！10月から巣箱の取り付け



上はねくら用巣箱 下は営巣用巣箱

□ 9/27 巣箱を設置する林の調査 「つどいの森」のアカマツ林



施設管理者と打ち合わせ



取り付ける立木を探す



「この立木は如何です?……」

「里山整備対策事業」……林野庁の交付金事業

※ 正式事業名……森林・多面的機能発揮対策事業（3年間の継続事業）

事業のねらい

林野庁が掲げる事業のコンセプトは下記の如く、当会が日頃実施している活動内容と殆ど同じです。

- ◎ 保全活動……荒れた里山林の手入れ
 - ※ 今年度はマツ・スギ混交林を1ha 整備する。（既に完了）
- ◎ 森林資源活用……薪など地域の資源活用。
 - ※ 今年度は 雑木林 0.5ha を間伐、間伐材は薪、炭、製材の原木。
- ◎ 森林環境教育など……
 - ※ 今年度は1～3月間に4回、森林環境教育・安全講習など開催。

<9月に完了>

- 保全活動 ……既に完了（下の写真を参照）。
9月9日（月）～12日（木）の4日間、盛岡市手代森の「三助山」のマツ・スギ混交林 1ha 余を集中的に下刈り、間伐を実施。

<これからの活動>

- 11月～12月
森林資源活用… 雑木林の間伐 11、12月
盛岡市手代森の「田中林・雑木林」0.5haで薪、炭、きのこ栽培の原木として利活用するため間伐する。
※11月はウィークデーの2日間を予定。
- 新年1月～3月
森林環境教育…「間伐材の資源化…」
新年の1月～3月間に4回 開催。

9月の活動から

□ 9/9(月)～12(木)の4日間、集中的に活動しました。延べ47人が参加。



入山する参加者



簡単な林分調査で間伐率を出す



劣等木から伐り倒す



間伐材も集材して搬出



爽やかな林に変身！ 無事、4日間で1ha余りの間伐を完了

派遣事業（安全技術普及活動）

□ 9/8(日)講師派遣・・・NPO 法人遠野エコネット主催

「第2期 山仕事はじめの一步入門講座」・・・

当会からスタッフの高橋(堅)、斉藤(文)の2人が講師役を務めました。

当日、朝は雨で午前中は「安全なチェーンソーワーク」など室内研修。

午後から、小雨の中「玉切り」、「受け口」の作り方などの訓練。



アメニモマケズ伐木の練習・・・遠野エコネットの木材集積所(土場)



何処の方向に倒すつもり？



水平になってますか？



初めて挑戦 エンジン始動

毎月第2日曜日 開催 <10月の研修テーマ>

- ◎ **安全な間伐**・・・正しいつるをつくること
＝正確な受け口、追い口づくり。
- ◎ **掛り木の処理**・・・順序だてて行う。①揺する ②回す
③ずり下げる、④折倒し。

□ 9/25 林野庁「里山整備企画」参加団体の安全講習会

斉藤文男、大江文昭 の2人が講師役を務める

岩手県内でこの企画に参加するのは16団体、リーダーになる人たちへ 森林作業の安全を徹底するため、開催されました。里山整備の事業内容は実効的な整備を求めているもので、チェーンソーとか刈払い機などを使用する機会が多くなります。それだけに安全への備えが必要です。当会の「山仕事の手引き」を中心に研修しました、



<10月のスケジュール>

各活動分野の今月のスケジュール・前月の活動詳細は下記のページをご覧ください。

- ◆「間伐材利活用」・・・ 2 ページ
- ◆「森林ボランティア講座」・・・ 3 ページ
- ◆「マツクイムシ被害防止」・・・ 4 ページ
- ◆「林野庁・里山整備企画」・・・ 5 ページ
- ◆「派遣事業」・・・ 6 ページ

9/19 ロープウインチを導入で講習会

～林野庁の里山整備助成事業～

主に集材や掛り木処理に使います。販売元のPC販売(大阪)から3人が来ての講習でした。



地曳きも架線集材もできる優れたもの。パワーもあります。



地曳き集材



架線集材

灰(炭焼き)の放射能

8/31に出炭した際、炭焼き窯に残った灰の放射能濃度を測定しました。結果はセシウムの合計が250.23Bq(ベクレル)でした。畑に肥料として撒けるのは400ベクレルですので畑には充分使えます。



8/31 の出炭風景

9/23 そば刈取り

この日は木工教室でしたが、急遽、10人で午前中、刈り取りをしました。

※ 実が熟れ過ぎてこぼれる心配がありました。



<今後のスケジュール>

10月初旬・・・脱穀 11/23・・・収穫祭

そば奉行 藤原隆雄